

第3回古川西部地区学校教育部会報告書

開催月日	令和2年10月28日(水)午後3時00分～午後4時15分
開催場所	古川西中学校 パソコン室
出席者	<p>●古川西部地区学校教育部会員 10名 古川西中:阿部部会長, 小野寺部会員 西古川小:遠藤部会員, 高橋部会員 東大崎小:千葉部会員, 川嶋部会員 志田小:佐々木部会員, 市川部会員 高倉小:本林部会員, 大場部会員</p> <p>●事務局(教育総務課) 4名 安藤参事, 佐藤主査, 亀ヶ川主事, 大内調査員</p>
概要	<p style="text-align: center;">○部会員 ⇒教育委員会</p> <p>1 開会 2 挨拶 3 第2回学校教育部会の報告(大内調査員)……………資料1 ※別紙資料のとおり 4 協議</p> <p><u>1学校備品の整理と移動について</u> <u>(1)進捗状況と課題・懸案事項について……………資料2</u> ⇒当日配付資料「古川西部地区学校統合に係る資料(備品・文書等)」</p> <p>○古川西中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品移動について, 事務部会で検討したことを伝えます。まず, 統合校の規模に合わせて必要物品の数を確認するのがいいのではないかと考える。 ・閉校した学校の利活用まではある程度の期間を要するだろうから, その間は教育委員会管理で物品を置くことができるだろうと考える。そこで, 開校時には西中にある備品を, 不足する分は西古川小, さらに足りない分は東大崎小, 志田小学校から備品を持ち寄って使用することにすればいいのではないかと考える。 ・開校後職員同士の情報交換を持ち, どの学校に何があるのか確認をし, 夏季休業中に備品の補充作業を行うこともできるだろう。そうすることで, 必要以上に備品に関する作業を軽減できるのではないかと考える。 ・教材備品も学校に行って探すようにして整備できるのではない

かと考える。

- ・この方法で良いかどうかを持ち帰って検討してもらいたい。
- ・西中の先生方に物品の有無確認をしてもらっているがまだ完了していないので今後も継続していく予定である。

○志田小

- ・秋休みに10数年振りに備品整理を行った。自校で給食を作っていた時代の備品がまだ残されていた。台帳に合わせて廃棄処分をする予定だ。今回の統合は岩出山と長岡と比べ受け入れ母体小学校がないので、どこか受け入れ母体を作って整理するのがいいのではないか。

○西古川小

- ・備品整理を行いたい。

○東大崎小

- ・11月には備品整理を行い廃棄処理も進めたいと考えている。備品整理は母体を作り足りないところに補うのが良いのではないかと考える。

○高倉小

- ・備品整理はまだ行っていないが、明らかに不要な備品も見られる。年度内には、その不要な備品の廃棄処理を確実に行っていききたい。

⇒母体を作って備品を搬入する、というのは、具体的にどうするのか教えていただきたい。

○小学校用の教材備品は西中には全くないので、西古川小学校の備品を西中に運び入れ、足りない分を他の小学校から搬入して学習活動を始める。もっといい備品が閉校した学校にある、となれば、夏休みに備品の入れ替え作業をすればいい、という考え方だ。

(西中:小野寺委員)

⇒各校の使える備品を撮影して写真データとすることは必要だろうと思います。その上で、備品の確認も行っておくことは、先生方の備品情報の共通理解になるだろうし、備品の入れ替えにも役立つだろうと思います。

○備品には耐用年数があるので、耐用年数内のものに絞ることは必要だろう。古くて使用に耐えないものまで総ざらいすることは避けるべきだ。(西中:小野寺委員)

○教室数によって必要な備品数も変わるので校舎のレイアウトも決まらないと必要な備品数も決まらないだろう。お願いだが、ブラウン

管テレビや使わない洗濯機などが学校に多数あるようだが、処分経費は教育委員会で負担してもらいたい。(志田小:市川委員)

⇒廃棄する備品はまず処分し、使用に耐える備品を残し、その中から統合校に搬入する備品を選んでいくことになるだろうと思います。処分するものはリストにしてその分の予算化を図り対応するようになると思います。

○閉校する学校に残す備品の行き先は、統合校に優先権があるということでしょうか。(西古川小:遠藤委員)

⇒そうなります。

○文書については、提示された方法でいいと思います。施錠できる部屋等に文書を格納し、保存年限に応じて処分することがいいだろうと思います。(西中:小野寺委員)

⇒閉校した学校の跡地利活用について、今までの場合と違ってきている状況です。それは、岩出山の場合は閉校後に 5 年ほど猶予期間を設けてその間に跡地利活用についての協議を進める方法をとっていましたが、今後は閉校準備をしながら跡地利活用についても協議していく方向になり、閉校後の猶予期間が短縮化されて行く見通しです。その点に留意願います。また、教育財産の間は教育委員会が管理しますが、その後は財政課の管財係が「主」としての管理を担うようになります。教育委員会は「副」としての管理に当たることになります。

(2) 図書館関係と保健関係……………資料2-1

・今後図書館関係と保健関係の会議を行う予定。

12/4 に図書館支援員 12/7 に養護教諭の会議を開催した。

2 伝統芸能の学校教育への取り入れについて……………資料3

○特に新しい意見等はない。(志田小:佐々木委員)

○新しく作るとなると難しいだろう。(西古川小:遠藤委員)

○一つを選ぶのは難しいだろう。地域に返すのがいいのではないか。新しいのを立ち上げる、ということも難しいだろう。
(東大崎小:千葉委員)

○保存会との関係もあり、一つを選ぶのは難しいだろう。また、新しいものを立ち上げることも難しいだろう。(高倉小:本林委員)

○西中の教育活動には伝統芸能に関することがない。高倉の薬太鼓

に参加している生徒はいる。統合校として伝統芸能を教育活動に取り入れることは難しいだろう。(西中:阿部部会長)

⇒先生方からは「難しい」という話をいただきました。後で話し合うことですが、「ふるさと教育」として総合的な学習の時間の中で、今まで協議してきた伝統芸能を扱い、直接の活動は行わずに、保存会の方に直接見せてもらったり、子供たちの活動の様子をDVDに保存して、鑑賞したり、見たりすることを学習の中に取り入れることはどうだろうかと考えます。その学習を通して、高倉の子供が新田囃子に興味を持ったり、東大崎の子供が保柳神楽に興味を持ったりすることもあるかも知れないと考えています。各学校の様子を先生方から話していただいたので、それらをまとめて、次回また、これらのことについて話し合いを重ねたいと思います。

(3)義務教育学校について……………資料4(関上小中1~7)

※事務の先生方はここまでは一緒に、残りは別室

(4)地域との連携(ふるさと教育)について……資料5-1資料5-2

⇒現在教育活動として行っている伝統芸能について、子供たちが演奏したり舞ったりしている様子、保存会の方の演奏や舞の様子などを動画としてDVDに保存して学習活動の中に組み入れることができないか、そして、地域素材として扱っていくことができないかと考えています。

○保柳神楽を運動会で披露している。そのときには地域の方も入って一緒に舞を踊っている。地域との繋がりはとても強い。記録を動画として残すことは問題ないだろう。(西古川小:遠藤委員)

○高倉で行っている高倉一番太鼓は伝統芸能ではない。高倉で伝統芸能というのは3年生で行っている田植え踊りになる。
(高倉小:本林委員)

○映像として記録すること、今まであるものを使うことも考えれば、動画づくりは可能だろうと思う。(志田小:佐々木委員)

○大丈夫だろうと思う。(東大崎小:千葉委員)

○全体としては、映像を記録することは可能なようだ。では、次に資料5-2に、総合の年間指導計画があるが、このことについて協議する。(西中:阿部部会長)

⇒統合したことで地域の歴史や郷土のことを学ぶことで、気持ちや

心を一つにしていくことが大切だろうと思います。その機会を、総合学習の中で行えればと考えます。計画の中で、地域・伝統・食・歴史のカテゴリーで扱えればと考えます。他地区では「〇〇学」として、他教科との関連も図りながら学習しているところもあります。この地区には、西部ですので、「西風」と書いて「ならい」と読みますので、勝手に「西風学(ならいがく)」はどうだろう、と考えてみたりしています。

○色麻は一つの町、閑上は一つの地区、しかし、西部地区は何のまとまりや繋がりがある地区ではないので、〇〇学のようなものを立ち上げること自体難しいのではないだろうか。

(高倉小:本林委員)

○農事試験場もこちらに移動してきましたし、大崎氏もこの地にいましたし、寄せ集めにはなるかも知れませんが、統合を機に子供たちを一つするものを準備すべきだろうと考えます。

○地域との繋がり、人との繋がりというのが学校としては大切だと考える。例えば、寒梅酒造さんは学校に大変協力的で、その繋がりが学校としてはありがたいし、また、強みでもある。素材や人的資源を一つ一つ繋いでいきながら学校の教育資源としていくことが大切だろうと考える。一度に全てを網羅することは無理だろうと思う。(西中:阿部部会長)

○5年生は水田で稲を作る活動を行っているが、その中で、地域の方、おじいさんおばあさんが来てくれて、子供たちを盛り上げ、とても素晴らしい活動にしてくださっている。

(志田小:佐々木委員)

⇒地域素材について、先生方に情報提供をお願いしながらもう少し細かい形で作成していきたいと考えます。

(5)その他

※特になし

5 その他

次回第4回学校教育部会 1月12日(火)古川西中学校

6 閉会